

製品名: Grap ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11745**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	GRAP
別名	GRAP; GRB2-related adapter protein
遺伝子 ID	10750.0
SwissProt ID	Q13588
免疫原	抗血清はヒト GRAP 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

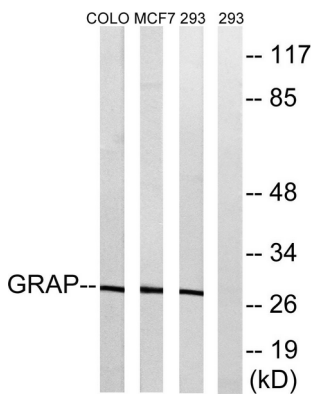
この遺伝子は GRB2/Sem5/Drk ファミリーのメンバーをコードし、2つの SH3 ドメインに挟まれた SH2 ドメインを含む細胞質シグナル伝達タンパク質として機能します。SH2 ドメインは、幹細胞因子およびエリスロポエチンのリガンド活性化受容体と相互作用

し、BCR-ABL オンコタンパク質との安定な複合体の形成を促進します。また、このタンパク質は N 末端 SH3 ドメインを介して Ras グアニンヌクレオチド交換因子 SOS1 (son of sevenless homolog 1) と也会合します。一般的に、このタンパク質は受容体および細胞質チロシンキナーゼからのシグナルを Ras シグナル伝達経路に結合させます。 [RefSeq 提供、2012 年 7 月],機能: 受容体および細胞質チロシンキナーゼからのシグナルを Ras シグナル伝達経路に結合させる。 ,類似性: GRB2/sem-5/DRK ファミリーに属する。 ,類似性: 1 つの SH2 ドメインを含む。 ,類似性: 2 つの SH3 ドメインを含む。 ,サブユニット: SH2 ドメインを介して、幹細胞因子 (KIT) およびエリスロポエチン (EPOR) のリガンド活性化受容体と結合する。また、Bcr-Abl オンコプロテインと安定な複合体を形成する。 GRAP は、主に N 末端 SH3 ドメインを介して Ras グアニンヌクレオチド交換因子 SOS1 と結合する。 TCR 活性化時にリン酸化 LAT と相互作用する。 SHB と相互作用する。

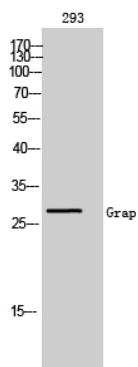
研究分野

-

画像データ



GRAP 抗体を用いた 293、MCF-7、COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Grap ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析